

つながりの中でくらす  
望まれた人として生きる  
自分らしく生きていく



No. 78

2023年10月発行

## 生きる力

今年の夏、放課後等デイサービス「楽童ほうぷ」の卒業生が、「帰って来たよ」と、立ち寄ってくれました。彼は、高校卒業後、調理の専門学校に行き、東京のレストランで働いています。「どう？ 仕事、大変でしょ」と聞くと、「もう、もがきまくってますよー」との答え。その一言で、彼がどんなに頑張っているかわかります。幼かった頃の彼を思い出し、彼がもがくことのできる力をつけたことを感じ、「これが生きる力だよね」と思いました。東京の一人暮らし、ちゃんと生活できているかを心配すると、居酒屋で隣り合わせたおじちゃんやおばちゃんにごちそうしてもらうこともあるとか。「あなたはホントにスゴイよ!」と思いました。この「生きる力」は、障害のあるなしは関係ないのです。

地域生活サポートネットほうぷは、法人設立以来、障害をもつ子どもたちに対する様々な取り組みをしてきました。それを一言で言うならば、「生きる力」を育てていくための活動だと思っています。ただ、それは、学習指導要領で掲げられている力とは違います。私たちは、子どもたちが、今、そして、将来、自分らしく生きていくために、何をしたらよいのかを試行錯誤してきました。その中から、「子どもから始める個人将来計画ワークショップ」(現・ワタシ・ミライ・ワークショップ) や、「自立生活プログラムこども版」(現・こどもIPL) をつくってきました。「ワタシ・ミライ・ワークショップ」では、子ども自身が「自分が主人公」だと感じ、いろいろな人同士がつながることができます。保護者や支援者が、子どもの将来を思い描いたり、子どもに何かをさせようとしている気持ちに気づいたりする場でもあります。「こどもIPL」は、個人の体験を広げることだけが目的ではなく、友達と一緒に協力しあったり達成感を感じたりしながら、体験をひろげていくことを目的とします。その中で地域の人たちとの出会いもあります。いろいろな人のかかわりの中で、困難があったときに、人に助けってもらったりもがいたりする力もつけていければと思います。様々な体験を広げて、自分で選択することや決めることをして、自分らしく生きていくことをサポートしたいと思っています。

多くの保護者は、将来、わが子が自立できるようにと思って、子育てをしています。自立には、人それぞれの考え方があると思います。私たちが考える自立は、一人で何でもできることや自分のことが自分でできることではなく、「自分らしく生きていくこと」です。

私は、「自分で自分のことがほとんどできない」娘を育てながら、生きる力や自立について考えてきました。「私はワタシ」と胸を張って生きていく娘から、地域の中でいろんな人とつながり、自分で居場所をつくり、自分がしたいことを伝えて、人の手を借りながら生活を楽しむ生き方を教えられました。やっぱり、「あなたはホントにスゴイよ！」と思います。自分らしく生きていくためには、自己肯定感を育んだり、自分で、あるいは誰かと一緒に自分のやりたいことを選んだり決めたりすることだと考えています。そして、助けてくれる人や自分が安心して居られる場所をつくることだと思っています。それが、「生きる力」につながると考えています。

(向井裕子)

## 放課後等デイサービス「楽童ほうば」報告

暑くて長い夏でした。酷暑の夏休みは、毎日のように水遊びをしました。容器に水を入れてお互いにかけてあったり、色水の噴水実験やスプラトゥーン大会を開催してゲームの世界感を楽しんだりしました。雨の日にも、どうしても水遊びがしたいと子どもたちが言うので、お祭りで見かける10円玉落としを室内で行ったりしました。子どもたちは、水遊びを満喫した夏休みでした。スタッフたちは、帰宅すると倒れこむように眠る日々でした。

夏休み中の「こどもILP」は、「住」をテーマに取り組みました。普段お家でご飯を食べるときに使用のお皿や箸置きを自分で作ってみました。型抜きを使って動物、ハートや星などの形を作ったり、自由に立体的なものを作ったりしました。焼きあがった自分の作品を見て「ほんとに固くなった!」「頭もげた! ガーン」と、難しさも感じながらも楽しんでいました。

2学期が始まってすぐの創作活動は、ハロウィンにむけてキノコとかぼちゃ作りを行いました。「ハロウィンだから人食いキノコを作るぞ〜」と、怖そうなキノコを作ったり、自分の顔写真をパタパタとキノコに貼って『ボクキノコ』を作ったり個性あふれるたくさんのキノコが誕生しました。天井に飾って一気にハロウィンらしくなりました。



## サマーフェスティバル&カフェほうぷ

7月22日(土) 参加者：子ども12名 学生ボランティア4名

今回も、地元の小学生や未就学児の親子、通りすがりの人など、多くの方々が来てくださいました。スマートボールやおぼけショット、おかしすくいなどの遊びで盛り上がりました。その中で、子ども達の目を引いたのは手作りの自動販売機でした。自動販売機の裏では、子どもが働いて、缶ジュースを出します。大好評で行列ができ、自動販売機の中でお仕事をしている子ども達たちは「忙しいな！👧」と言いながらも楽しそうでした。



## 真夏の音楽会 ～千里金蘭大学コンサート～

7月31日(月) 参加者：子ども8名

今年も千里金蘭大学の学生さんたちが、音楽会を開いてくれました。ジブリの曲の演奏や歌を披露してくれ、子どもたちは身体を揺らしながら、ノリノリで聞いていました。クイズに正解するとラムネのプレゼント。子どもたちは、大喜びでした。



お姉さんたち  
いつもありがとう♪

## やってきた！ビリーケン・キッド

8月1日(火) 参加者：子ども14名

プロレスラーのビリーケン・キッドが、ほうぷに来てくれました。初めて見るプロレスラーに子ども達のテンションは最高潮♪ ビリーケン・キッドにスペイン語を覚えてもらったり、みんなで筋トレをしたりしたあとは、チョップをさせてもらったり、腕にぶらさがらせてもらったりしました。最後は、サインをもらうために長蛇の列ができました。ビリーケン・キッドの強さとかっこよさに影響され、サインをもらった時に、「僕も強くなります！」と宣言する子もいました。



## 防災学習・地域清掃

9/30（土）参加者：子ども 11 名 学生ボランティア 4 名

カルタを用いて防災学習を行いました。地震がきたときにとるべき行動や事前に準備しておくこと、火災が起きた時はどうする？ などが書かれたカルタで、遊びながら防災について学ぶことができました。読み札も「俺が読む～！」と、率先して子ども達が読んでくれました。カルタをしたあとは、地域清掃を行いました。「意外とゴミ、落ちてるもんだねえ」「どっちが多くゴミ集められるか競争ねー」と話しながら、地域の清掃を頑張りました。清水2丁目はキレイになったかな？



## ワタシ・ミライ・ワークショップ

6月に中学1年生の男子生徒、10月に中学3年生の男子生徒のワタシ・ミライ・ワークショップを開催しました。中学入学の節目と中学卒業の節目で開催しました。ワークショップは、ご本人と保護者やご家族、学校の先生、放課後等デイサービスの職員さん、ピアカウンセラーさん、楽童ほうぐの子どもなどが参加しています。今回、参加が難しかった放課後等デイサービスには、付箋に書く意見を事前に提出していただきました。ワークショップでは、本人を真ん中にして、やりたいことをみんなで考えました。

<感想から>

- ・ 私も知らない一面が知れてよかった。幼稚園小学校とできることを増やすことに一心だったが、本人の意見に反したことをしてきたかもしれない。これからは、地域に根ざして、自分の居場所を作って行って欲しいと思う。自分の思い通りにいかないことがあっても、自分の好きなことを見つけて行ってほしい。
- ・ 普段の学校での様子と、いろんな人が見ている様子が違うので、勉強になった。学校でも、もっとAさんにいろんなことができる、できることがたくさんあると思った。
- ・ 家での生活や学校での様子、デイでの様子から、自分が勝手に線引きしていたことに気づいた。ここまでしかできないというように思っていた。世界が広がった気持ちでした。
- ・ 学校では楽しい話がなかなかできないが、今日は学校以外のBさんを知ることができて良かった。また、学校でもいろいろと話をしているいろんなことにチャレンジしていきたい。



# 保護者満足度アンケート集計&自己評価

## 満足度調査(保護者)の集計結果

### 【質問項目一覧】

<環境・体制整備>

①子どもの活動等のスペース ②職員の配置数や専門性 ③事業所の設備等

<適切な支援の提供>

④個別支援計画 ⑤平日の活動内容 ⑥土曜日や長期休暇中の活動内容 ⑦地域との交流

⑧学校や福祉サービス事業所との連携

<保護者への対応>

⑨支援の内容、利用者負担等の説明 ⑩子どもの状況についての保護者との共通理解

⑪保護者への面談や助言等の支援 ⑫保護者間交流や保護者研修会 ⑬苦情対応

⑭保護者への連絡や情報伝達 ⑮保護者への情報提供などのわかりやすさ

⑯個人情報の取り扱い

<非常時等の対応>

⑰緊急対応マニュアル等の周知(危機管理) ⑱避難訓練等の危機管理体制

<満足度>

図1 質問内容別満足度

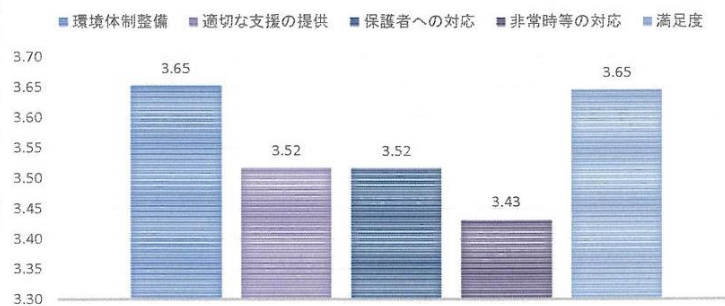


図2 重要度と満足度の対比(満足度/重要度)

回答 24人

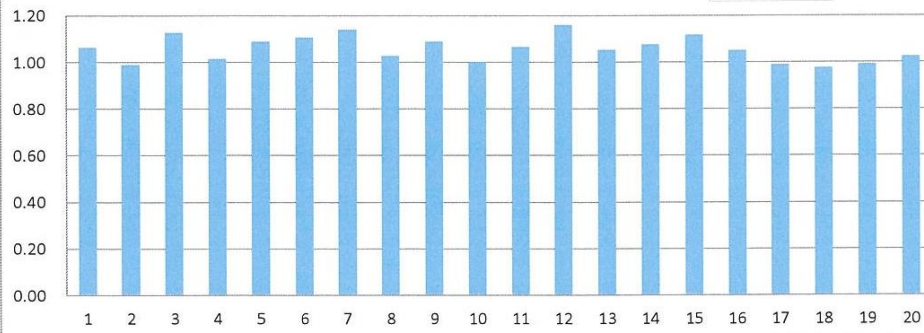
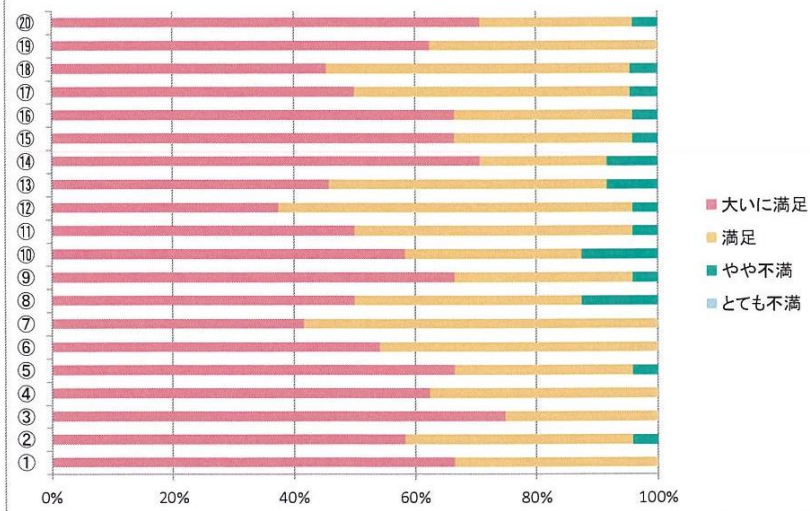


図3 質問別満足度合比率

回答 24人



チェック項目	評価				改善目標や工夫している点
	はい	いいえ			
1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	4	3	2	1	
2 職員の配置数は適切か。	4	3	2	1	
3 事業所の設備についてバリアフリー化の配慮がされているか。	4	3	2	1	
4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	3	2	1	PDCAサイクルの使用はないが、計画・実践・振り返り・改善を職員が広く参加し行っている。
5 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善に繋げているか。	4	3	2	1	保護者向け満足度調査(アンケート)を毎年実施し、改善を行っている。
6 この自己評価の結果を法人の会報やホームページ等で公開しているか。	4	3	2	1	ホームページにて公開
7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	2	1	第三者評価は実施していないが、外部委員で構成する運営委員会を設置し、改善につなげている。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	4	3	2	1	
9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、支援計画を作成しているか。	4	3	2	1	
10 支援計画の内容を職員が共有し、日々の支援に役立てる工夫をしているか。	4	3	2	1	毎週と毎朝の職員ミーティングで行っている。
11 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	3	2	1	毎週、職員ミーティングを開催して行っている。
12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	3	2	1	毎週、職員ミーティングを開催して行っている。
13 平日、土曜日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	4	3	2	1	毎週、職員ミーティングを開催して行っている。
14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて支援計画を作成しているか。	4	3	2	1	
15 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	4	3	2	1	毎朝、職員ミーティングを開催し、情報の共有と確認をしている。
16 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	2	1	毎夕、パート職員と振り返りを行い、翌朝の職員ミーティングで共有している。
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	3	2	1	個別に配布する活動記録と日報にて記録をしている。
18 定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	4	3	2	1	
19 自立支援と日常生活の充実のための活動・創作活動・地域交流の機会の提供・余暇の提供を組み合わせ支援を行っているか。	4	3	2	1	
20 こどもの将来に向けて、こどもの体験を増やす活動に計画的に取り組んでいるか。	4	3	2	1	こにる
21 こどもの自己肯定感をほぐむ取り組みをしているか。	4	3	2	1	
22 地域に開かれた事業所運営を行い、地域住民や関係機関と連携し、地域社会の一員として育つ取り組みをしているか。	4	3	2	1	現に居

チェック項目	評価				改善目標や工夫している点
	はい	いいえ			
23 学校との情報共有(行事予定の交換や下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時やトラブル発生時の連絡等)を適切に行っているか。	4	3	2	1	トラブルの発生や確認など、学校と連絡を取り合っている。
24 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3	2	1	保護者のアセスメントや相談支援事業所との情報共有で終わっている。
25 学校を卒業し、障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか。	4	3	2	1	ワタシズミライワークショップの開催等を実施して、情報を共有する場を作っている。
26 発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けられているか。	4	3	2	1	エルムおおさかに研修を依頼したり、助言を受けたりしている。
27 地域の中で障害のない子どもと活動する機会があるか。	4	3	2	1	近隣の公園で一緒に遊んだり、イベントに小学校区の子どもたちが来たりしている。
28 地域自立支援協議会や地域活動協議会に参加しているか。	4	3	2	1	自立支援協議会の本会、こども部会、事業所連絡会に参加、地域活動協議会の福祉部会委員。
29 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	3	2	1	
30 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者等に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか。	4	3	2	1	ペアレントトレーニングは実施していないが、保護者向け研修会は実施。
31 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	3	2	1	
32 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4	3	2	1	
33 保護者会や保護者研修会を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	4	3	2	1	研修会や交流会を開催したが、参加者が少ない。ほうふ商店などのイベント時、各々が交流されている。
34 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	3	2	1	毎週、職員ミーティングを開催し、保護者からの訴えやヒヤリハットなど話し合いをしている。
35 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に発信しているか。	4	3	2	1	毎月、楽童ほうふだよりを保護者に向けて発行し、3か月に1回法人会報を広く発行している。
36 個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	4	3	2	1	より取り扱いに注意をする必要がある。
37 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	3	2	1	視覚支援等を使って行っている。
38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	4	3	2	1	定期的なマニュアルの見直しを実施し、「子どもの安心安全のための対応マニュアル」を保護者に配布。
39 非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出、その他必要な訓練を行っているか。	4	3	2	1	定期的に避難訓練を実施
40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	3	2	1	
41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、支援計画に記載しているか。	4	3	2	1	
42 食物アレルギーのある子どもについて、おやつや調理などの対応がされているか。	4	3	2	1	
43 ヒヤリハット報告書を作成し、事業所内で共有し、事故等の防止に努めているか。	4	3	2	1	毎週の職員ミーティングで共有し、定期開催の虐待防止委員会でも報告しアドバイスをもらっている。

HP に感想なども掲載しています。ご覧ください。

## ● 法人内の活動報告 ●

- 7月 19日(水) 職員研修「支援介助(こどもの安全確保)」(ほうぶ)
- 7月 21日(金) 職員研修「相談支援専門員現任研修」受講
- 7月 31日(月) 職員研修「BCPの作り方」(自立支援協議会しごと部会・旭区役所)
- 7月 28日(金) ほうぶ よるカフェ開催(ほうぶ)
- 8月 18日(金) ほうぶ よるカフェ開催(ほうぶ)
- 9月 1日(金) 職員研修「相談支援専門員現任研修」受講
- 9月 12日(火) 法人臨時理事会
- 10月 12日(木) シェアハウス誕生日会
- 10月 17日(火) 集団指導(オンライン)
- 10月 23日(月) 職員研修「エルムおおさか・事例検討」
- 10月 26日(木) 大阪経済大学 ゼミ生ボランティア受け入れ  
～ 6日間

## ● 地域活動報告 ●

- 7月 18日(火) 旭区地域自立支援協議会 事業所連絡会(児童)(旭区役所)
- 7月 19日(水) 旭区地域自立支援協議会 本会定例会(旭区役所)
- 7月 22日(土) 就学進学なんでも相談会(旭区役所)
- 8月 9日(水) 旭区地域自立支援協議会 相談支援部会(旭区役所)
- 8月 26日(土) 子育て応援セミナー(自立支援協議会こども部会・旭区役所)
- 9月 8日(金) 地域活動協議会福祉部会
- 9月 10日(日) おやこひろば ほうぶ「おんがくひろば」(ほうぶ)
- 9月 11日(月) 旭区地域自立支援協議会 こども部会(旭区役所)
- 9月 12日(火) ブックスタート(ほうぶ)  
清水地域子育てネットワーク会議(清水小学校)
- 10月 18日(水) 旭区地域自立支援協議会 相談支援部会(旭区役所)
- 10月 23日(月) 旭区キッズネット定例会(旭区民センター)



近隣の小学校や幼稚園・保育所では運動会の季節です。子どもたちは、運動会の練習に疲れて、ぐったりしたりイライラしたりしているかもしれません。練習では頑張っても、たくさんの保護者の前では上手くできない子もいます。本番で上手くできなくても、「よく頑張ったね」とたくさん褒めてあげたいと思います。

ようやく、過ごしやすい季節になりました。夏の疲れが取れますように。  
みなさま、くれぐれもご自愛ください (む)

